



題字：本校書道教諭
坪井 宏(号 工鷹)先生書

第28回 在京芸陽観音 同窓会のご案内

記

日 時 平成二十六年十月十三日(月曜日) 体育の日
十一時三十分 受付開始

十二時〜十四時 同窓会(挨拶・事業報告・懇親会)

場 所 六本木ヒルズクラブ (別添地図参照)

〒106-6151

東京都港区六本木六丁目十番一号

六本木ヒルズ森タワー五十一階

TEL 03(6406)6001

会 費 男性 七千円 女性 六千円

希望者 展望台・森美術館チケット五百円(通常千五百円)

森美術館および展望台のチケット千五百円相当を事前に申し込みの方に限り五百円にて手配いたします(当日限り利用可)

出席確認 同封の郵便振替用紙により出席を確定させていただきます。

尚準備の都合上振込期限は九月十四日(日)とさせていただきます。

また振り込み後九月二十二日(月)までに出席取り消しを当番幹事に連絡いただきましたら会費は返金いたします。

その他 今回は会費等の郵便振替用紙を広島二中卒並びに広島観音高校卒の皆さま約七〇〇名の方々にお送りしています。

皆さまの周りで本案内が届いていない方がいらつしやいましたら下記の当番幹事までご連絡ください。折り返し案内と振り込み用紙を送らせていただきます。クラスメート、同期、部活動の仲間など皆さまお誘い合わせの上ご参加ください。

* 六本木ヒルズクラブについて

六本木ヒルズクラブは日本を代表する高級会員制クラブとして知られ、ヒルズ族の情報交換の場として一世を風靡いたしました。会員制クラブということもあり普段はなかなか利用出来ない所ですので、皆様の積極的な参加をお待ちしております。
(展望台)と森美術館も同窓会後の散策スポットとしてお楽しみ頂けます。

在京芸陽観音同窓会

会 長 松本 正 (広島二中二十二回)

TEL 045(五二六)七三二五

E-mail: tadmatsu@c3-net.ne.jp

当番幹事 荻本和利、齋藤敏文、高橋優子、時村三枝子、脇田 直 (全員観音二十三回)

連絡先 齋藤敏文

TEL 090(六一六八)0707

E-mail: saito-9898@live.com

地下鉄日比谷線・六本木駅1C出口3分、
大江戸線六本木駅3出口6分



会長挨拶



二中22回 松本 正

「同窓会をやるなあええが二中だけにしてくれえよ！こういう先輩方に、それじゃあ先はありませんや。観音につながるにゃ！と逆らって続けたのが在京の集まりです。」昨秋、広島芸陽観音同窓会に在京会の会長として本部への挨拶を兼ね、「東京でもこんなに同窓の集まりをやってるんですぞ」と広島各位へのPR目的で出席してきました。冒頭の言葉は懇親会で挨拶した最初の口切りです。

十一月九日、ANAクラウンプラザホテルの会場は超満員！ステージ真正面、私は中本名誉会長、中川校長、平松同窓会長らと同卓というVIP待遇を受けました。在京会27年前の発祥から東京広島県人会のHPに存在が登録される迄の経緯をかつまんて話し、「今や観音組の手によって立派に運営されています」

と言うとヒューヒュー口笛も混じった大歓声を受けました。写真は観音20期の山下徹氏がフエイスブックに投稿してくれたもの。手にしているのは旗揚げの記事を載せた22期同期会報の拡大コピーです。この場にいた同窓で一人でも初めて在京の集いに参加する人が現れることを心から願っています。

『第27回 在京芸陽観音同窓会』開催報告

第27回当番幹事

田中義一・志和木薫

第27回在京芸陽観音同窓会を、昨年10月5日(土)に東京有楽町の帝国劇場ビル内「神戸大学東京六甲クラブ」にて開催しました。当日は二



ことができました。今回は第20回有志が幹事団を結成し田中くん(総幹事長)のもと入念な準備を行いました。

司会を第20回の田中くんが務め、総会が始まりました。まずこの一年間でお亡くなりになられた会員の御霊に対して、黙祷を捧げました。続きまして松本会長(広島二中22回)からの開会挨拶をいただきました。瀧山事務局担当副会長(観音9回)による2012年度の会計報告があり、満場一致で承認されました。さらに役員人事として現役員は2014年4月1日から2年間留任することが議決されました。

以上、事業報告に続きまして懇親会に突入しました。乾杯のご挨拶は榎野副会長(観音6回)でした。軽妙な田中くんの司会により懇親会は和気あいあいと進行していきま

した。懇親会を盛り上げたのは升田(観音20回)くんによる『観音高校の近況2013年写真集』の丁寧な解説と二中OBの上杉さん以下、各年次代表七名による5分間限定の近況スピーチでした。スピーチはそれぞれ趣向が凝らされていきました。司会の田中くんの非情な5分経過チャイムを軽くオーバーした熱の入ったお話や朗読などでした。スピーチ内のエピソードで会場は爆笑・感動の渦の中でした。その後、廣兼本部常任監事殿による広島同窓会の報告がありました。第20回的小林くん、松本くんによる恒例の校歌斉唱、エール交換と続き、最後に当番幹事の挨拶で閉会となりました。同期の仲間、先輩後輩との会話も活発でとつても盛り上がった同窓会でした。この在京同窓会が、これからも長く引き継がれて行

くことを切に願ひ、禪とバトンの後輩の方々にお渡しします。

*同期会報告

二中二二会同期会



榎野弘二撮影

松本 正(二中22回)

★戦時中の少年時代はよもや考えもしなかった人間八十歳それも半ばに差し掛かろうという我ら二中22期、その在京組で作る東京二二(にいにい)会は、一昨年傘寿記念として横浜港での屋形船、昨年は商売柄集いに出て来にくからう友が経営する料亭に集つたりして、この歳になれば「ちびつとでもええけえ」美味しいものが喰いたい。今年、浅草の風物詩とともに夫々の旬

の吟味された食材を丁寧に料理する日本料理の店もちづき吾妻橋店を選んだ。アサヒビールビル21階からは目の前にスカイツリー、眼下には隅田川の流れが楽しめる。このビルでは4年前に完成前のツリーが見られる絶好のポイントとして集いを持ったことがある。偶々筆者が入院欠席したこともあって今回は亀井事務局長が前回のイタリア料理から日本料理に替えるという気配りをしてくれた。嬉しいじゃないか。

★集いの前、この機に乗じてと手前どもら予約してたものだからツリーの展望台まで昇ったが折悪しく台風にぶつかり、眼前は全く真っ白の雲の中。マ、この台風がよりのよって22号！我々の会が22回期とあって歓迎してくれたんじゃあ文句もあんめえ。

★宴を始めたころようやくツリーが全貌を表わしてきた。数は減ったが、カミさん連れなどでの年に一度の再会に座は盛り上がった。ご覧の通り手前と奥とは明るさが段違い、お姐さんにシャッターを押しもらったが、芳しいとは程遠い出来となって申し訳なし。次は富士山が見える温泉に一泊しようじゃないか。エ？



《出席者》山田夫妻、亀井、石丸、上杉、佐藤(旨)、大本、千葉ヨシコ、松本夫妻。

第26回ポプラの会

今本 智行 (広島観音14回)

在京の観音高校第14回生(昭和38年卒)が、この度で26回目の同窓会を開催いたしました。1988年(昭和63年)に第一回目を開催して以来、毎年比較的天候の良い日取りを選んで集まってきました。8年前の会合で次回20回目(蓼科高原に遊ぶ)を転機として5年ごとに一泊旅行にしようとする参加者一同一致で昨年25回は軽井沢に遊びました。古希を迎える参加者にとって思い出深い会になりました。さて、今回は26回目ということで、参加者にとってゆっくお話しが出来ること、料理がおいしいこと、そして交通の便が良いことの3点を主眼に



2013/06/08 12:29

場所を選びをいたしました。幹事としてフランス料理・イタリア料理・中華料理など並みある候補から「日本料理・京料理」を選択し、繊細な味と雅な盛り付けを楽しめ且つ場所も東京駅大丸百貨店12階の『京料理・たん熊』を選ぶことといたしました。

日にちは6月8日(土曜日)。参加者は総勢17名(女性6名、男性11名)

天候にも恵まれ初夏のおつとりとした時間の中で恒例の自己近況報告を行いました。参加者各自の生活状況紹介や現在入れこんでいる事柄などの発表です。

発表の安井剛氏と聞入る左



2013/06/08 12:29

奥から梶原(佐々木)喜久子、藤井哲也、三宅洋、内藤寛司各氏

※この写真に写っている、清楚な紳士・藤井哲也さんが現在は黄泉の人となっておられます。慙愧に耐えませんが、大笑いの大原邦子(倉敷から参加)、佐伯(津田)陽子、梶谷(松岡)久美子、藤谷十一各氏

弁論中の古田正雄氏、隣の細江(高比良)江波、中崎舒弘、森(漆谷)勝和各氏

たった3枚の写真ですが、見えることは「高校生に戻って、幸せ！」の表情。中でも三宅さんの謡曲の「うなり」や藤谷さんの江戸武士の「いろいろ売り」朗誦「彼の説明



2013/06/08 12:39

観音18期近況報告

久保田裕一(広島観音18回)

では、成田屋(市川團十郎家)の十八番とする歌舞伎の科白(せりふ)だそうです。少し長かった5分間？でしたが多才の披露にビックリ！

2次会コーヒータムを含め嬉しいひと時でした。以上

幹事：今本智行記

団塊世代の我々も前期高齢者になり、押しなべて気力・体力・暇が充実している元気なうちに色々な同期会が盛んです。18期は約500人の大所帯にて甲(A、B、C、D

組)乙(F、G、H、I、J組)の二つに分かれ、授業も別々修学旅行などの行事も別行動と普段は交流が薄いのですが部活などでは一緒に同期の結束は強くありました。現在も在京18期同期会は、甲主催と乙主催に分かれておりますがお互いの集まりに参加し合っております。

昨年5月にC組クラス会(11名出席)田中君が福岡県糸島市にJターンする為、6月に甲同期会(21名出席)を行いました。写真は一昨年のものですが軽井沢のC組松本君別荘での集い(15名出席)で調理師免許も持つA組東君料理のイタリアンに舌鼓を打ちながらワインで乾杯。食後は田中君のサククスと歌姫B組中川(旧松村)さんのジャズを聴きながら「夜が更けていきました。今年、5月に広島組在京組合の庄原かんぼ一泊比婆山ハイキング、7月にはIT企業を定年退職後農業に大変身したC組小山君の夏野菜と東シェフとのコラボで、お食事付の「水海道あすなろの里」お泊り会があります。

乙は、毎年新年会・忘年会、その他色々理由を付けての飲み会(16名前後出席)に加え、蓼科高原のトヨタ車体山荘でゴルフ大会。昨年は車体会長

のH組岡岡君が不参加でしたが今年は9月に2泊で開催予定です。また、今年から旧東海道ウォーキングがスタートし、日本橋一品川・蒲田。3回目の5月は横浜予定。I組和田君は3年かけて京都までと壮大な計画を抱いていますが私は箱根の山を越えられるかどうか。そうそう、先日の会ではI組旧姓Fさんが「また、名前が変わりました。」とサプライズ。お相手は74歳で大学教授。お孫さんが4人から8人になったそうです。我々もまだまだ青春時代?は続きそうです。



軽井沢写真:上段 C田中 中段左より C旧姓進藤、C小出 D旧姓大辻、A有川、香川さんのご子息、A旧姓香川、B旧姓松村、C松本、C久保田 下段左より I内富、B旧姓末岡 C旧姓星、A東、A猫島

近況ご報告



蓼科写真:左上より F大城、H田上、H益田、C久保田、I山口、G井上、I高杉、I和田、左下より H松本、I内富、J大中、I旧姓黒田、I旧姓藤井、I中常、J三宅

広島県北の今田城を訪ねて

今田(旧姓山本)浩子 (広島観音16回)

私達夫婦は、歴史の名所を訪ね歩くのがとても好きで、一昨年には『江戸名所図会を訪ねて』を出版するまでになりました。その後土日には神社仏閣や庭園巡りを続けています。とりわけお城にはとても興味をそそられ、江戸城はもちろん八王子城・小机城・平山城など近郊の城跡、さらには川越城や小田原城、千葉の大多喜城、遠くは彦根城と行ってみました。

そんななかで、この度、前

から気になっていた広島県山県郡千代田町にある今田城跡を訪ねることにしました。主人の姓の今田とは何の関係もないとは思いますが、広島県には今田さんという姓が多く、今田城は一度は訪ねてみようと思っていた史跡でした。四月十二・十三日、今田城で「こぶし祭り」というイベントがあるというので、それに合わせて広島に帰省することになりました。広島市から高速道路で一時間、千代田インターを降りて山間の道を縫って無事城跡に到着、案外スイスイと来ることが出来ました。

今田城は今田氏が居城とした室町・戦国時代(十五・六世紀)の山城で、今田の谷の最奥部、奥今田(現在は山県郡北広島町今田)にあります。今田川を臨む最高所から尾根を加工して造られた四つの廓と若干の土塁や井戸・堅堀が残されています。

ふもとの今田城館跡から頂上の城跡までは、急な山道を三十分ほど、約百メートルの高さを登ると、てっぺんは平たく開けていて、周囲はすべて急な斜面となっており、なるほど山城にふさわしい地形でした。山頂からの眺望はともすばらしく、桜やこぶしの花が咲いていて、登ってい

た他の人達と雑談したり、写真を撮り合うなどのどかなひと時を過ごして山を降りました。ふもとの館跡には美味しい水が出るという水場があり、「こぶしの名水の由緒」という説明書きを読みながら名水で喉を潤おしました。「今夜は神楽が開催されますよ」と言われましたが、私達は他に予定があったので、このおだやかな、のんびりした暖かそうな奥今田の里をあとにしました。

今田城跡には館跡の石垣や、築山・池を配した庭園跡が残っているだけで、城らしい建造物はありませんが、手入れのゆき届いた田畑、のんびり穏やかな山里の風景が、とても私の心に残り、中世の山城のあった村を思い浮かべさせてくれました。東京からはナカナカ訪れる機会はありませんが、「こぶし祭り」は毎年開催されるそうなので、またいつか来てみたいと思いました。



今田城 史跡 今田城跡

在京芸陽観音同窓
会会報に寄せて
(2014年)

三谷啓子 (広島観音31回)

「土曜の午後のひととき、
いかがお過ごしでしょうか！
お耳の恋人、三谷啓子です。」
こんなフレーズで始まるFM
ラジオ番組。高校時代の私に
は、未来のこんな姿は全く想
像できるものではありません
でした。

その頃の私はろくな勉強も
せず、将来はスチュウワーズ
になりたいと夢だけ持ち、お
気楽に遊んでいたおバカさん
でした。今、改めてこの原稿
を書きながら当時のことを振
り返ってみると、いろいろな
思い出が甦ってきました。

まずは、頭の悪さでは笑う
しかありません。とにかく理
数系が大の苦手で、ある時物
理の試験中に問題用紙の問題
自体がわからない・何を聞い
ているのかさえわからない・
吐きそうになる・当然解答用紙に何も
書きようがない・吐きそ
うになったところで試験に見
切りをつけ退室。もちろん結
果は一桁台の点数。よくも卒
業できたものだと思えます
(自嘲を込めて)。

もう一つは、体育祭の応援
団に入ったこと。ここで踊り
の楽しさを覚え、その後クラ
スの女子4人でダンスユニッ
ト「観音キッドダンスターズ」
を組み、文化祭で披露するこ
とに！体育館ステージでのス
ペシャルショーでは、クラス
中の友達が応援に来てくれ、
手にはクラッカーを持ち、声
援を送ってくれました。終
わって出て行くと拍手と花道
で祝福され、感激の一日でし
た。「クラッカーを鳴らすの
を忘れるくらい良かったよ
う！」と言われたことは、お
恥ずかしながら自慢です(失
礼しました)。

このような青春時代を観音
高校で学ばせてもらったのだ
など思うと同時に、在京同窓
会の仲間入りをさせてもらっ
たことに感謝です。
現在はラジオパーソナリ
ティーや多方面での司会・話
し方講座の講師などをつとめ
ていますが、私の土台は広島
の地や観音高校で作られたの
だと改めて感慨に耽っています。

自己紹介

佐々木孝治 (広島観音35回)

観音35回の佐々木孝治と申
します。卒業後は大学(青山
学院大学・国際経営学)へ進

学し大学卒業後直ちに三菱重
工業(株)本社入社。工場経
理や本社広報等を経て航空宇
宙事業本部へ異動し国家プロ
ジェクト・787開発担当課
長等を経験。其の後(公財)
航空機国際共同開発促進基金
の初代評議員や(一財)素形
材センター設立時理事等の政
府指定機関や団体役員を歴任
(専門は公益学・産業構造論)。
現在は三菱重工の交通輸送
ドメインと言う処で陸・海・
空(鉄道・船舶・空)に跨る
事業戦略の推進を担当(職制
名は文字通り事業戦略推進
室)しております。

実は観音高校の近くにある
「三菱重工(株)広島製作所」
が初任配属先でした。大学を
経て同所に配属される者は殆
んどいませんが、地元からこ
の工場に入られた方は相当数
居られたと記憶しております。
高校時代に風向きによつては
工場のサイレン音が聞こえた
ものですが、まさか其処で働
く事になるうとは思ってもお
りませんでした。配属職制は
企画経理部と言う処で、工場
勤務の約4年間全てをこの職
制で過ごしました。同じ広島
時代ではありますが、高校時
代の三年間と社会人としての
工場勤務時代とは、置かれ
た立場や厳しさが異なります

ので、同じ観音の街でありな
がら受ける印象は全く違った
ものになります。街そのもの
は実にノンビリとしています
が、工場の中では日々国際競
争を繰広げており、企業城下
町(例えば長崎)は何処もそ
うしたものだと思います。

其の後本社へ異動し海外経
験も含め広島から足が遠ざ
かっておりましたが、最近に
なつて航空機工場を広島に展
開する事になり、思わぬ処で
広島との関りが発生しており
ます。

本社異動後のベースは「丸
の内、海外、品川、霞ヶ関、
日比谷、大手町等々」ですが、
業務関連で観音OBに出会う
事は全く無いに等しい状態で
少し寂しい思いはございます。
一人でも多くのOBが先ずは
東京へ、そして海外へとチャ
レンジして頂きたいものです。

一筆啓上

湘南地方、
それってどこ？

平塚 功 (広島観音3回)

湘南ってどこ？
私は湘南地方の藤沢市鶴沼
(くげぬま)というところに
住み着いて既に45年にもなる。

この地を選んだ理由は、東京
で生まれ育つた亡母が、生前
将来は湘南に住みたいと度々
言っていたことにある。今回
改めて「湘南」を考えてみた。
『湘南』という言葉は、最
近は一種のブランド化され、
例えばプロのサッカーチーム
が『湘南』を冠して湘南ベル
マーレと改称したことや、J
Rの愛称『湘南新宿ライン』
(新宿経由で高崎/小田原、
宇都宮/横須賀間)の運行開
始等で、やや有名にはなつた
ものの、全国的にはまだ知名
度はそれほど高くはないよう
に思える。

さて、その『湘南地方』で
あるが、一般にはその言葉は
聞いたことのあるけれども、
具体的にどこの地方を指すの
かと問われれば、確か神奈川県
の相模湾に面した茅ヶ崎あ
たりか、それとも鎌倉付近か
なあ、とお答えになるのでは
ないだろうか。関東の人です
ら、私が「住まいは湘南の藤
沢市です。」と言うと「そこ
は箱根の辺りか、それとも熱
海とか静岡県ですか？」と聞
かれて苦笑したこともある。
定説のない湘南地方。

しかし、もともとそういう
疑問が出されるのは決して不
思議でもなんでもない。はっ
きり言つて、私自身も曾て湘
南地方に属する正式な市町村

はいっただいどこになるのかと気になったことがあり、湘南の語句の起源とともに種々調べたが結局決定的なものはない。昔から中国の湖南省の景勝地から名付けたとか、他にも諸説あるもののどれが正しいとも言えない。『湘南地方』は昔のお役人が決めた地方行政上の市町村の集合体ではなく、その昔から庶民によって言い伝えられた愛称(俗称)であって、漠然としているからである。その名がようやく知られるようになったのは、徳富蘆花の明治三三年の『湘南随筆』からだとは言われている。

ホンモノの湘南各市と鎌倉市

さて、本題に入って、当地方では昔から常識的に『湘南地方』というのは、JR東海道線に沿った藤沢、茅ヶ崎、平塚の三市と、寒川、大磯、二宮の三町を含んだ計六市町村であったことは、まず間違いないところであろう。

なお、誤解のないように言っておきたいのは、藤沢市に隣接している鎌倉市は、過去に世界遺産都市に立候補を云々したことのある都市で、『いざ鎌倉』という言葉が現在まで残っているほど、日本の古都としてあまりにも有名なものである。市内には名刹も非常に多く、現在も文化都市、観

光都市として非常に活発であり、伝統的にも『鎌倉はあくまで鎌倉』である。現在の鎌倉市民の文化レベルも高いのも事実。従って湘南地方とは全く別な独特な雰囲気のある街である。

因に当地の主な書店店頭での鎌倉市内観光案内書は、観光ブームを反映して優に二十冊を超えるし、『鎌倉と湘南の観光』のように相乗りの本もあるが、各市町村の単独名の観光案内は極めて少ない。湘南ブランド利用のビジネス

ところが近年、全国各地で地域の振興・開発政策が採られるようになると、神奈川県内でも、やたらに『湘南』の語をブランド化して駅名、会社名、支店名、商店名、校舎名などに使用し始めたため、必然的にその範囲が拡大してしまった。特に不動産関係社の広告に至っては、三浦半島の売り出し物件にまで『湘南××』を使っているのには全く驚いてしまった。

湘南ナンバーの新設

話を湘南に戻して、平成4年に自動車のナンバープレート表示が『相模』から一部『湘南』に代わる案件が報じられると、人気の湘南ブランド獲得を目指して、遙か県北とか足柄・箱根町まで各市町村がそれぞれ招致合戦を展開、結局それが承認され、多くの車が走行するに及んで、『湘南地方』のイメージはまた一層広範囲になってしまった。

湘南大合併構想の破綻

余談になるが、十年前に私が車で広島県三次市に行ったときは、当時の『相模』ナンバーであつたため、現地では間違つて読まれて『相撲(スモウ)』ってどこの県のナンバー車?』と言われてしまい、『相模』は全国的にも認知度が低いなと感じたことがあつた。したがって県北の地方の方が、ナンバー登録地名を『湘南』に切り替えたい気持ちも分らないではなかつたが。

さて、平成一四年に、当時の平塚市長が藤沢市、茅ヶ崎、大磯町などの六市町村の合併構想案を打ち出して名称を『湘南市』に改めようと提案した。ところが加山雄三の湘南ブランド、桑田圭祐のサンファンが多い茅ヶ崎市民は、茅ヶ崎の名前が消えることには大反対。また、一時合併に賛成方向だった我が藤沢市民もこれに合わせて合併に大反対に変わってしまった。

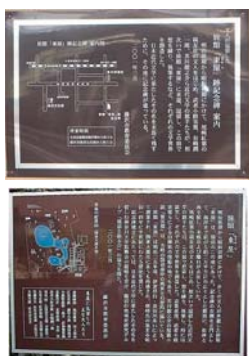
このような背景もあつたのか、当時の平塚市長は自身の市長選挙で落選の憂き目に合い、そこで合併話は完全に消えてしまった。当時私個人も『湘南市』なんてキザで全然なじ

めないと思つていたので、計画中止の報をひそかに喜んだ記憶がある。

ところで、わが藤沢市は、前述の鎌倉市とか、あるいは近年の茅ヶ崎市のように、野田宇宙飛行士など多数の有名人が続々輩出している都市とは違つて、それほど有名都市ではない。PRに観光地の江の島を擁している程度の藤沢市。朝日新聞の『藤沢市印象アンケート』の結果は、『のんびりで穏やか』、『気候温暖』、『交通が便利』、『海・山の食べ物がおいしい』等の回答が優位にあり、私としては納得した。しかし一方では、『個性不足のイメージ』とか『目立つ特徴なし』という不満回答もあつた。

そこでこれに刺激されたのか、観光業・商業・諸大学、交通関係の諸団体は、一斉に決起して『藤沢市を盛り上げ隊』などを組織し運動をお越し、映像PR作戦(朝日夕刊)を実行中とのことである。これに対しては、私は『神奈川県人口は九〇八万人、そのうち藤沢市は四十二万人を占めており、神奈川県内第四位の都市であり、過疎でもなく大都市でもない、まことに住みよい都市ならば、住民にとつてそれはそれでもう十分ではないか』と思ひ批判的である。

特に鶴沼地区は、鶴沼郷土資料室資料によれば、その昔の明治以来保養地として、この土地にゆかりある人々は例えば芥川龍之介、岸田劉生、川合玉堂、長谷川一夫等、作家・画家・芸術家・音楽家・学者・評論家・俳優等々実に四〇名以上という記録が残されている。もちろん現在でも著名な方々も引き続き住んでおられるが、明治・大正・昭和の初期に多くの文化人が、鶴沼の旅館『東屋』に逗留し著作活動を行い、数々の立派な足跡を残したことは、当時



はとも有名であった。前記の業界や諸団体が、街の振興策を模索しているようであるが、同じ有名でも文化面での諸活動で有名の方が、やはり歴史的に観ても貴重であり意義があると思う。

平塚市に住む藤沢サン？

あまり地元の話にとらわれ過ぎたので、最後に私の趣味の会合などで行う自己紹介ぶりをご案内しておこう。まず最初に『私は東海道線の藤沢市に住んでいる平塚と申しませぬ。平塚市に住んでいる藤沢サン？ではありませんので、どうかくれぐれもお間違えないように』とわざと念を押す。すると初めての方は、どうも駅名と同じ人物名だという記憶だけが残ってしまいうらしく、後刻『エート！あなたは確か東海道線の駅名と同じでしたよね・・・戸塚さんでしたか？あれは横浜やね。それとも小田原さん？だったかな。わからんようになってしまった』などと言われて笑い出してしまふ。おかげで、私は初対面の方々とも打ち解けやすいことになる。これも我が名前が湘南のJR平塚駅名と同じならばこそ話ではある。



鬼平情景



副会長 榎野 弘二 (広島観音6回)

「いつの世にも悪は絶えない。徳川幕府は火付盗賊改方(ひつけとうぞくあらためかた)という特別警察を設けていた。凶悪な賊の群れを容赦なく取り締まる為である。独自の機動性を与えられた、この火付盗賊改方の長官こそ長谷川平蔵、人呼んで鬼の平蔵である。」 こうしたナレーションで始まるのは、江戸時代後期、盗賊たちから鬼の平蔵と恐れられていた長谷川平蔵の活躍を描いた池波正太郎の人気小説

「鬼平犯科帳」を映像化したテレビドラマだ。

1989年7月から2001年5月までフジテレビで放送された中村吉右衛門主演の「鬼平犯科帳」が、このところ毎週月曜夜7時からBSフジで再放送されている。このドラマは、個性的な登場人物と手に汗握る展開に加えて、長谷川平蔵の組織におけるリーダーシップの在り方などが魅力的なので、私は毎週楽しみにして見ている。

ところで、私は殊の外「鬼平犯科帳」に親しみを覚えているのだ。というのは長谷川平蔵こと鬼平が活躍した場所といえ、江戸の本所深川であり、現在、私が住む墨田区千歳の他、墨田区南部地域の両国、緑、立川、そして菊川周辺に該当するからである。それら場所のうち、弥勒寺(みろくじ)は立川1丁目、弥勒寺

門前の茶店「笹や」跡は千歳3丁目、軍鶏(じゅんけい)鍋屋「五鉄(ごてつ)でこ」跡は両国4丁目、そして長谷川平蔵屋敷跡は菊川3丁目にそれぞれ残されており、いずれの場所も私の家から徒歩約2分から約15分位の距離にある。

なお、無宿人や無法者を集めて正業の生産技術を身につけさせる為に石川島人足寄場を設立したのは、長谷川平蔵の功績である。この場所は、後に石川島播磨重工業(現・IHI)の工場となり、私は新入社員時代、米国のエンジンアを案内したことがある。現在、中央区佃にて超高層マンションが群立している。

弥勒寺は私にとって縁があり、14年前の2000年、墓を建立したが、生前墓なので墓石裏には氏名などが赤色で刻まれている。昭和20年3月9日の東京大空襲により本所

深川は全滅廃墟し、屍累々となつたが、弥勒寺は遺骨3500体を安置の上、供養して観音像を作った。

「鬼平犯科帳」での弥勒寺と弥勒寺門前の茶店「笹や」は、「お熊と茂平」、「二人女房」、「寒月六間堀」など22作品に登場する。弥勒寺は、写真①の通りに現存しており、弥勒寺門前の茶店「笹や」跡は写真②のそば屋「むら田」ではないかと推定される。

軍鶏鍋屋「五鉄」跡は、鬼平と密偵が集い軍鶏鍋をつつきながら、情報交換した場所である。堅川(たてかわ)の二之橋そばにあり、「鬼平犯科帳」では多くの作品に登場し、近くには密偵五郎蔵とおまさの住居もあった。軍鶏鍋屋「五鉄」跡には、写真③のように桜の木と老舗の中田屋茶舗がある。そして、長谷川平蔵屋敷跡は、平蔵の死後、江戸町奉行・遠山金四郎の屋敷となり、写真④では丸山歯科医院前に記念碑が見られる。



話変わって「鬼平犯科帳」の名セリフの一つだけ選んでみた(文末カッコ内は作品名) 「人間というやつ、遊びながらはたらく生きものさ。善事をおこないつつ、知らぬうちに悪事をやつのける。悪事をはたらきつつ、知らず識らず善事をたのしむ。これが人間だわさ」(谷中いろは茶屋より)

テレビドラマ「鬼平犯科帳」のエンディングには、桜、花火、紅葉、雪といった日本の四季を代表するシーンに菖蒲や紫陽花、梅雨時のわか雨模様や風鈴売り、そして冬のそば屋台に見られる人の生きる営みを映像化し、町人文化の彩りを活き活きと表現している。更に、テーマ音楽であるジブシー・キングスのギター曲「インスピレイション」は、何度聞いても何と無く郷愁を感じる。【写真 榎野弘二撮影】

東京都知事賞に
副会長 榎野弘二さん
(広島観音6回)

2013年11月、第40回東京都写真展「東京の今」(主催●全日本写真連盟 朝日新聞社 後援●東京都)で榎野弘二さんの作品「女神輿」がトップ入賞の東京都知事賞を受賞しました。

榎野弘二さん「東京都写真展」には過去10年間、入選を続けていますが、トップ入賞は初めてです。ハイアングルで躍動感あふれた女神輿の担ぎ手の表情や法被と鉢巻の赤色を鮮やかに表現できました。なお、同窓会の多くの皆様や女神輿の方々まで写真展をご覧いただき、厚くお礼申し上げます。

げます。今後も写真三昧で頑張りたいと思います。」



東京都知事賞「女神輿」
榎野 弘二撮影

「広島に三つ星店誕生！」

「ミシュランガイド広島」

詳細発表も
お好み焼き店も掲載

日本ミシュランタイヤ株式会社(東京都千代田区代表取締役社長・ベルナル・デルマス(写真左))は2013年5月14日、『ミシュランガイド広島2013特別版』(税込2520円、5月17日発売)の掲載店詳細を発表した。今回掲載されている施設は合計362軒で、このうちレストランは278軒。広島市の日本料理店・なかしまが三つ



星に輝いたほか、5軒が二つ星を、24軒が一つ星を獲得した。また、広島名物のお好み焼きや穴子、牡蠣の店も紹介されている。

「ミシュランガイド広島」は今初めて発行される特別版で、調査は2011年の秋ごろから開始。★はつかないものコストパフォーマンスの高い食事を提供する、おすすめのお店を表すビブルマンマークは49軒についており、200軒は★やビブルマンマークはつかないもののおすすめの店として掲載されている。

広島の名物グルメであるお好み焼きは、いっちゃん(広島市)、八昌(広島市佐伯区)、八昌(同市中区)、平の家(備後)がビブルマンマークを獲得。六子料理はふじたや(安芸)が一つ星に輝いたほか、うえの(安芸)、和田(安芸)がビブルマンマークを得た。ビブルマンマークはミシュランマン(写真右)の顔をマークにしたもので、コストパフォーマンスの高い食事を提供する、星は付かないお店の中でも特におすすめのレストランを表します。「ミシュランガイド広島2013特別版」では、3500円以下で食事ができるお店に付いています。広島においての際は、ご参考にしてください。

星を獲得した店舗は左記の通り。
★☆☆三ツ星
なかしま(日本料理・広島市)

★☆☆二ツ星

- 阿じ与志(日本料理・備後)
- 児玉(日本料理・広島市)
- 山茶花(日本料理・安芸)
- 天甲本店(天ぷら・広島市)
- 桃花庵(日本料理・広島市)

★一ツ星

- あかたら(居酒屋・備後)
- 為楽庵(蕎麦・広島市)
- 岩惣(旅館・安芸)
- エルバ(イタリア料理・備後)
- Ozawa(フランス料理・広島市)
- 葛(日本料理・広島市)
- き多丘(日本料理・広島市)
- 木むら(おばんざい・備後) 旬菜
- 食彩てっせん(日本料理・備後)
- 寿司もち月(寿司・広島市)
- 鮮や大東(寿司・安芸)
- たこつぼ(日本料理・広島市)
- 玉の(日本料理・広島市)
- 手打ちそば笑空(蕎麦・備後)
- 花お(日本料理・広島市)
- 東山(日本料理・備後)
- ひと志(寿司・広島市)
- Hiroto(フランス料理・広島市)
- ふく政(ふぐ・安芸)
- ふじたや(穴子・安芸)
- 松風(日本料理・安芸)
- ミル(フランス料理・広島市)
- ル・ジャルダン(フランス料理・広島市)
- ル・ミロワール(フランス料理・備後)

(記事と写真は 日本ミシュラン) PRESS INFORMATION より)

芸陽観音ゴルフ会

2013年度当番幹事

- 高橋 滋(広島観音4回)
- 土居将憲(広島観音13回)
- 古田正雄(広島観音14回)

50回目の記念大会が、昨年名門、富士小山GCにて盛大に開催されました。この会は山木和雄様(観3)の永年のお世話により関東エリアの名だたる名門コースを年3〜4回尋ねることも会員が楽しみに参加するゴルフ懇親会です。この50回を期に幹事役を持ち回りで年度ごと2回開催する運びとなり2013年度は私達3名が担当致しました。第51回は5月29日麻倉GC、参加者11名、優勝者 森 勝和様(観14)、第52回は10月10日鶴舞GC、参加者12名、





回	コース	優勝	準優勝	3位	ベストグロス
51	麻倉	森 勝和	土居将憲	今本智行	今本智行 86
52	鶴舞	志和木薫	今本智行	山木和雄	志和木&今本 91

優勝者 志和木 薫様(観20)、
詳細は左記の通りです。
ここ1、2年の戦いは観音
20回生の志和木様と田中様の
メンバーに14回生の今本様
森様が先輩の意地で肉薄、そ
して大ベテランの石丸様、山
木様が健在ぶりをアピールさ
れています。それでは熱戦模
様を優勝者に語って頂きま
しょう。なお長年続いた持ハ
ンデイ戦から2014年度は
新ペリア戦に移行します。幹
事役も次の3名様に委嘱致し
ますのでよろしくお願い申し
上げます。それでは来る5月
8日大宮ゴルフコースでお会
いしましょう。

2014年度幹事
今本 智行様(広島観音14回)
三宅 洋様(広島観音14回)
森 勝和様(広島観音14回)

優勝挨拶(第51回)

森 勝和(観音14回生)

第51回麻倉ゴルフ倶楽部
(2013年5月)で優勝出
来ました14回生の森です。優
勝リレーと言う題材なので少
し私のゴルフ談話させて頂き
ます。

私のゴルフ履歴は約42年
(27歳頃から)ですが正に我
流でした。当時のゴルフは高
価なだけでなくコースはなか
なか取れないし半年に一回の
コンペ位の参加が関の山でし
た。おまけに現地までは遠く
朝は早く(4時頃から)から
夜遅くまでと1日を一杯
使ったと言う印象が残ってい
ます。その後、ブームの到来
等もあり、私も営業と言う立
場少しづつブレイの機会は
増えて来ましたがゴルフ以外
の麻雀や囲碁とか飲み会等も
多く、当然、練習もせずの参
加でした。その間にも世の中
はバブルが弾けたり、景気の
山や谷は幾度となく有りました。
サラリーマンとは言えの
んびりとゴルフどころではな

かった時期も有りました。営
業としては100位のスコ
アーが最もお客様の手前、理
想的と言う事を常に聞いてい
たので何とかその位は大丈夫
と自分自身で納得し対応して
いました。今思えば上達する
筈も有りません。最近初めて
少し集中して練習したりして
いる今日この頃です。

在京の同期とは(東京ポプ
ラの会1987年に発足・現
在27年継続中)還暦を過ぎた
辺りからそろそろ時間的ゆと
りも取れるようになり会食だ
けでなくゴルフや温泉やゆと
りを求めている泊りを企画し年
に2、3回行っています。上
手な今本君を追い越せが目標
ですがそれは難しいのでせめ
て元気な声と笑いの絶えない
集まりを継続しております。
体を使い、頭を使う、そして
仲間と一緒に楽しく取り組む
こと、正に命のリフレッシュ
と思っております。その後、先
輩や若手との在京の同窓ゴル
フの会の存在を知り懇親の輪
も広がるし新たな出会いや
違った方々との面識も出来る
大変良いチャンスなのでその
会にも参加させて頂くことを
決めました。

ゴルフにはただ飲む、食べ
るのと違った自然との触れ合
いとか楽しさが沢山ありま
す。年齢や体力差も気にする

ことなく長時間一緒にさせて
頂きブレイ中いろいろなお話
も出来る素晴らしい時間が持
てることも本当に感謝致して
います。

在京の名門コースを年に数
回、戦略性豊かで緑溢れる
コースを自分なりにマネージ
メントしながらブレイ出来る
楽しさも格別です。そこまで
の技量は有りませんがね。
余談ですがこのゴルフは19世
紀(日本・明治時代)には爆
発的なゴルフブームになった
らしいですね。発祥の地のイ
ギリスの凄さがわかります。
この会も既に50回まで行われ
最近仲間優勝が続いた
り、私一人蚊帳の外でした。
この51回は新ペリアに移行す
る前の最後のハンディー戦な
ので何とか味方に出来、漸く
私とそのチャンスを生かせ、
やっと優勝の仲間入り出来ま
した。

ゴルフと言うスポーツを通
じ同じ高校で学んだいろんな
年代の方々とご一緒しながら
いつまでも若々しく心も体も
リフレッシュ出来ています事
に改めて感謝します。ますま
す楽しい会となる様、私達も
心掛け継続して行きたいと
思っています。
私からの簡単な報告とさせて頂
きます。

優勝挨拶(第52回)

志和木 薫(広島観音20回)

2013年度、第二回目の
京芸芸陽観音ゴルフ会(10月
10日開催)の報告です。

本年度から世話人が持ち回
りになりました。ただし、ルー
ルとしては従前どおり「ハン
デイ戦ですが参加三回未満は
新ペリア方式とのローカル
ルールです。来年度からは
オール新ペリア方式に切り替
わるということで、今回は「ハ
ンデイ戦」の最終回となりま
す。ハンデイはまだ多く、今
度も優勝・準優勝のチャンス
は巡ってくるかと虎視眈々と上
位入賞を狙ってました。ゴル
フ場に向かう車の中でき浮き
と気分が高揚していました。

当日は、天気は晴れ、気温
も28℃とすこし暑いですが、
微風があり、過ごし易い気候
でした。なおかつ、メンバー
は最近絶好調の同期の田中く
ん、歴代の猛者である三宅さ
んです。同伴メンバーは皆優
勝を目指しており、舌戦はス
タート前からヒートアップし
ていました。
メンバーと天候に恵まれ、
コースも設備も素晴らしく、
さらにラッキーも味方したコ
ンペでした。まさに勝負は最

ゴルフフリー交友録

後まであきらめないことが、技術の貧しさをカバーする。ということを感じてきました。本当に、ゴルフとは、素晴らしいものですね。大自然の中での素晴らしい仲間とのプレー。堪能しました。当芸陽観音ゴルフ会が長く、発展していくことを祈願いたします。まだまだ参加してない諸氏には入会していただき、いつしよにプレーをしたかと思えます。

古田 正雄 (広島観音14回)

私のゴルフデビューは39才という遅いデビューです。当時お酒も飲みゴルフにも出かける友人たちの懐具合が自分とは随分違うなど感じていました。ある日 大阪からの出張帰り先輩にクレディットカードを携行しているかと尋ねられ、上野アメ横に直行しパワービルトのWOODとリンクスのIRONセットを購入したのが練習を始めるきっかけでした。筆おろしは相模原ゴルフクラブで親しい先輩とゴルフインストラクターとの同伴プレーです。天候も良くコースも素晴らしいことは覚えていますがラウンドのことは散々な思いです。その後

練習も真面目に取り組まない現役時代、スコアは100を切れば大満足の日々で専ら仲間との歓談、ゴルフ場の景観に見とれるラウンドを楽しんで参りました。自動車の国内営業という仕事柄、全国でラウンドした交遊と景観と一緒に思い出されます。

印象に強く残る国内のコースは、北海道では700ヤードPAR6のニセコビレッジコース、白樺に囲まれた札幌クラークCC、関東では太平洋に向かつて打出すPER3の大洗GC、しっとりした黒松林間コースの大利根GC、プレー後ゆったりしたアフタヌーンTEEAの軽井沢CC、どのTEEもグラウンドからもPINが見通せる相模原GC、どのホールからも海が見える川奈GC、どのホールからも富士山が見える富士小山GC、その他では四季それぞれの風情をかもした箱庭的な京都GC、執事出迎えの広野GC、太陽燦々の黒潮CC、一年中花の美しい琉球GC等です。今でもともにラウンドした友を鮮明に思い出します。海外ではビバリーヒルズの真只中にあるロスアンゼルスCCでの夕暮れなずむ中で夕食、マリリンモンローの「帰らざる川」のBOW川沿いのロッキーマウンテンを愛でながら

在京芸陽観音同窓会 2012年度決算報告書

在京芸陽観音同窓会 2012年度決算報告書(単位:円) 2013年3月31日

前年度繰越	382,572	
収入の部		
総会費	336,000	56名
初年度維持会費	13,000	13口
年維持会費	194,000	1年分194口
	32,000	2年分16口
	9,000	3年分3口
寄附	20,000	
広告費	20,000	
利息	4	
計	624,004	
支出の部		
総会関連費用	262,800	
会報印刷費	134,257	
振替手数料	27,480	
郵送費	47,600	
打合せ費用	30,000	
払い戻し	12,000	
その他(注)	6,820	
計	520,957	
次期繰越金	485,619	
内訳		
普通預金	32,252	
振替口座	435,433	
現金	17,934	
(注)その他		
複写・用紙代	1,355	
通信費	0	
封筒印刷代	0	
振替用紙印刷代	1,100	
謝礼他	3,265	
会議室代・運搬費他	1,100	
計	6,820	

バンフスプリングスGC、青木功が逆転チップインバーデイで優勝したHAWAIIワイアラエCC、古城ホテル宿泊のニース北壁のオピオバルボンGC、砂漠に見事な緑と花を咲かせるDUBAIのモンゴメリGC等です。海外のラウンドだけは今だにスコアカードを保存して時折思い出にふけます。

現役時代のラウンドは精々月1〜2回、年22回程度、リタイアした近年は一昨年25回昨年は24回とあまり変わりません。それが交遊は友人と近所の寿司屋のお客仲間とのラウンドが中心になりました。特に観音高校同期の森さん、今本さん、三宅さんとは年数回泊2ラウンドで各地の居酒屋を発見しながら、素晴らしいコースで安価なラウンドドルメの旅を楽しんでいます。石丸先輩、山木先輩のお元気なラウンドを目標にいつまでもゴルフ交遊を続けたい。



以上 相違ありません。
 観音17回幹事 清水暢之

平成25年度会費納入者

二中 東京都

回 氏名

- 9 西亀 達夫
- 12 伊藤 得平
- 17 胡子 英幸
- 17 川崎 利秋
- 20 武田 晴児
- 20 榎田 辰昭
- 21 小田 盛斗
- 22 末岡 恒美
- 22 湊 徳夫
- 22 行年 恒雄
- 23 平本 善一

二中 神奈川県

- 21 塚川 知
- 22 上杉 襄一
- 22 亀井 賢伍
- 22 松本 正
- 23 中神 義三

二中 千葉県

- 22 石丸 恵照
- 22 大本 竜敬
- 22 千代原 邦生

二中 埼玉県

- 20 牧尾 良典

二中 山梨県

- 22 山田 康彦

観音 東京都

回 氏名

- 3 矢沢 朝乃
- 3 榎田 辰昭
- 3 榎田 美保子
- 3 蒔田 尚昊
- 3 磯崎 英子
- 3 眼籠 朋子
- 3 山木 和雄
- 3 高田 昭一郎
- 5 吉良 正志
- 5 波多野 義昭
- 6 今坂 讓
- 6 榎野 弘二
- 6 田中 千鶴子
- 6 織田 好江
- 7 河西 寿子
- 7 牧野 俊美
- 7 齋木 勝司
- 9 百武 妙子
- 10 福尾 政道
- 11 岩崎 格
- 11 藤井 明
- 11 中村 洋一郎
- 13 谷本 多徳
- 13 土居 将憲
- 13 土屋 ソノエ
- 14 森 勝和
- 14 梶谷 久美子
- 15 新谷 恵彦
- 15 有田 進治
- 15 西山 史朗
- 16 浅井 慶子
- 16 片田 元己
- 16 野村 昌弘
- 16 今田 浩子
- 16 大城 守雄
- 16 高木 香代子
- 17 岡本 義次
- 18 長谷川 美弥子
- 18 角 隆
- 18 松本 清高
- 20 小豆原 博子
- 20 串山 絹恵
- 20 栗栖 正
- 20 松本 直和
- 20 中村 敏樹
- 20 山本 由美子
- 20 小林 剛
- 20 齐藤 登
- 20 森山 康三
- 20 黒田 美和子
- 20 掛水 通子
- 20 佐藤 洋子
- 21 川島 紀文
- 21 藤本 佳幸
- 22 田中 光晴
- 23 千川 一司
- 23 蒔村 三枝子
- 23 齋藤 敏文
- 23 岩本 宏紀

観音 東京都

回 氏名

- 24 太田 信三
- 25 藤井 高文
- 25 吉岡 豊
- 25 江口 英則
- 26 藤近 直也
- 30 橋本 篤範
- 30 鷲田 照幸
- 30 山上 園子
- 31 三谷 啓子
- 31 牧田 由美子
- 32 大山 誠
- 34 井上 麻里
- 35 佐々木 孝治

観音 埼玉県

- 6 浜田 光江
- 6 藤田 尚美
- 7 中野 春美
- 11 武藤 達
- 11 後藤 幸子
- 11 田中 秀穂
- 12 久保田 三紀男
- 13 杉本 俣男
- 13 佐伯 紗代
- 14 佐伯 博行
- 15 奈良原 章子
- 16 池田 慶子
- 17 原田 幸子
- 17 上田 珠代
- 18 清水 純
- 18 久保田 裕二
- 18 内富 幸司
- 20 富岡 和隆
- 20 藤原 美岐子
- 20 升野 和江
- 20 倉成 由美子
- 20 猪原 陽子
- 22 福田 みどり
- 38 前澤 美知子

観音 神奈川県

回 氏名

- 2 宅明 多聞
- 3 山本 豊子
- 3 平塚 功
- 3 堂元 一男
- 3 森政 忠雄
- 4 橋本 三千司
- 5 清水 幸浩
- 6 中原 壽子
- 6 平田 博義
- 7 柳田 陽子
- 7 寺本 昇
- 8 宇都宮 浩三
- 8 山田 明
- 9 中原 慈枝
- 9 瀧山 昇
- 9 山野 真純
- 9 渡部 亮一
- 10 山根 華子
- 10 平賀 源太郎
- 10 高木 明子
- 11 森脇 峻一郎
- 13 小林 信博
- 13 山野 日出子
- 14 中崎 舒弘
- 14 三宅 洋
- 14 古田 正雄
- 14 佐伯 陽子
- 15 小脇 敏子
- 16 冲野 正則
- 16 岡本 正行
- 17 清水 暢之
- 17 蔵岡 紀美子
- 18 太田 壽一
- 19 中尾 真澄
- 19 安達 栄治郎
- 19 角田 早代子
- 20 升田 和一
- 20 松原 邦雄
- 20 岩瀬 清子
- 20 竹森 裕子
- 20 志和木 薫
- 20 羽場 博則
- 20 田中 義一
- 24 高宗 貴子
- 26 斉藤 充子
- 26 中村 能章
- 31 亀津 雅子
- 36 瀬川 範子

観音 千葉県

回 氏名

- 3 伊藤 俊彦
- 4 安藤 幸代
- 6 遠藤 淑子
- 7 宮川 京子
- 9 渡辺 敏章
- 9 立川 妙子
- 9 仁賀木 寿子
- 9 丹下 容子
- 10 井上 佳子
- 10 岡寄 巖
- 10 古城 保枝
- 11 木場 照美
- 11 世良 宣義
- 12 島田 拓史
- 12 新宅 幸子
- 13 丸子 隆志
- 14 今本 智行
- 16 中村 修子
- 16 土井 泰秋
- 17 中田 君子
- 17 永山 成一
- 17 香藤 繁常
- 18 和田 真
- 18 大中 進
- 20 伊藤 清登
- 20 石田 由子
- 23 脇田 直
- 24 池田 利行
- 24 入矢 桂史郎
- 26 八塚 英嗣

観音 茨城県

- 9 長松 宏
- 9 山脇 修己
- 10 坂口 典子
- 14 藤谷 十一
- 20 住川 幹雄

以下の方に寄付を頂きました

- 3 山木 和雄
- 4 安藤 幸代
- 9 山脇 修己
- 19 角田 早代子
- 19 安達 栄治郎

●会費納入について事務局からのお願い

同窓会の維持に是非！ご協力を。

当会の運営は理事及び幹事の完全なボランティアで行われていますが財政は厳しい状況にあります。会運営の資金は皆様の会費が基になっております。

是非、年会費を継続して納入し、在京同窓会の維持にご協力頂きたくお願いいたします。

入会金は1,000円で、年会費は毎年1,000円です。従って、新しく入会される方は、**入会金と年会費を合わせて2,000円**をお納めください。

既に入会されている方で、平成24年度以降の会費を未納の方は、**3年分の3,000円**を、平成25年度の会費を未納の方は**2年分の2,000円**を、お納めくださいますようお願いいたします。

各位の会費納入状況に合わせた払込取扱票を同封しましたが、もし納入状況と異なる払込取扱票が入っていましたら、事務局までご連絡ください。

消費税の増税に伴い郵便局の窓口での払込手数料が120円から130円に上がりました。

自動払込機(ATM)を使った払込の手数料は80円で変わっていません。よって、会費および総会費の払込はなるべく**ATM**をご利用いただくようお願いいたします。

ATMの音声案内に従って簡単に払込ができます。

事務局：瀧山 昇 / 電話：045-983-5992

編集後記

松本 直和 (広島観音20回)

今年も、本会報の発行の時期となりました。寄稿頂いた皆様には、お忙しい中ご協力を頂き心よりお礼申し上げます。今回も、諸先輩方のお元気なご様子、お住まいの地域への愛着、そして現役での活躍の様子を多数いただきました。

今年の在京同窓会総会は花の六本木ヒルズで開催されます。東京は、六本木に始まり、東京ミッドタウン、日本橋コレド室町、虎の門ヒルズ、渋谷再開発、田町品川間新駅、新国立競技場をはじめオリピック施設と、ますます変貌しようとしています。シヨッピングや街歩きに楽しみは尽きないでしょう。

さて、その在京同窓会総会への最近の参加者は50名前後と、本会報の発行部数700部に比べ参加率が低落傾向です。当理事会でも、動員対策を相談していますが、会報発送対象者を若い卒年まで下げることぐらいで、他の具体策は検討中です。先日、ある同窓生と話した時に、「同窓会に出て知らない人ばかりで、しかも大先輩の自慢話で

会話も合わないの面白くない。会話のできる同期会なら参加するけど」とのご意見を頂きました。

私も初めて参加した時は、戦中戦後の話や、一・一中の時は・・・という話で会話が難しかったのですが、それでも多くの先輩方が話しかけて頂き、顔つながりできて会の敷居もだんだん低くなりました。もともと人との会話が苦にならなかつたのかもしれないが、理事会では会費の繰越金を有効活用して、同窓会会員と総会参加者の増加の運動をしたいと考えています。在京同窓生の皆様にも参加ご協力くださるよう是非よろしくお願いします。

本会報が皆様のお手元に着くころは、また、暑い原爆記念日を迎えます。私の頭には、8・6、8・15、12・8、そして最近3・11、そして3・3が浮かびます。(3・3は父の命日ですが)近頃、集団的自衛権や特定秘密保護法など民意と異なる方向へ動きつつある世の中ですが、平和都市宣言をした広島で育った何かの縁で同窓会にぜひ参加いただき、好きだった彼、彼女など、高校時代の思い出を語り合ってみませんか。

感動の誌面づくりをお手伝い。

<https://www.media-you.com>

学校PTA 広報誌・同窓会報・会社広報
パンフレット・チラシ・封筒・カラー名刺
のデザイン・制作・きれいな印刷

有限会社 **メディア・ユー** 担当/浦野 政博
〒121-0813 東京都足立区竹の塚3丁目16番6号
TEL 050-3580-8178 FAX 03-5686-0232

**横浜市原爆被災者の会
浜友の会 事務局長**

松本 正



事務所 〒245-0053
横浜市戸塚区上矢部町 315
TEL/FAX 045-814-2914

企業、グループ、個人の広告募集中です！ 当会理事までご連絡ください。